

アベノジャーナル Journal

木下吉信市政報告機関誌

発行所 木下会事務局 ☎06-6621-2651
http://www.kinoshita-yoshinobu.com/
E-mail:kinoshitakai@oct.zaq.ne.jp
〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町1-52-13
発行責任者 寺田 武 年2回(1月・7月)発行

送賀新年
明けましておめでとうございます



I♥あべの
今年も阿倍野区
のために
がんばります!!

平成から新しい時代へ

30年前のあの日

昭和64年1月7日。私は、毎日放送(MBS)の記者として勤務しており、JNN(TBS系列)の天皇特別取材班の一員として、宮内庁記者クラブで「天皇后崩御」の一報を受けました。

天皇陛下の病状が悪化する中で、各テレビ局は皇居内に中継車を常駐させ、テントをはって仮設スタジオを設置し、いつでも報道特別番組を放送できる体制を整えていました。その時、赤と白のカラーコーンで区切られていた各局の仕切りが「ご崩御」の直後に青と白のカラーコーンに取り替えられていました。昭和最後の日の驚きであり、私にとって最も印象的な出来事でした。

CMなしの特別番組

「天皇后崩御」の記者会見が行われた直後から各局とも報道特別番組がスタートしました。もちろんCMはすべてカット。

TBSのスタジオは、アナウンサーを中心に皇室ジャーナリストやコメンテーター、天皇陛下とのゆかりの方々が入れ替わり出演。皇居内における様々な様子については、仮設テントの特設スタジオから宮内庁担当の記者が弔問に訪れた政府関係者や各国大使の動静をリポート。

また、全国各地の系列局からは、役所や寺社に設けられた弔問の記帳所の様子やそれぞれの繁華街などの様子が中継リポートで放送されました。

昭和天皇の足跡

昭和天皇の生涯をまとめたVTRの編集にも携わりました。

あとは、昭和天皇の足跡をまとめたVTRを流しながら、ゆかりの方々や陛下の思い出話やその時々エピソードなど紹介していました。

毎日放送は、古くから「皇室アルバム」という番組を製作していた関係で、他局に比べて放送素材が豊富であったのは幸いでした。

昭和天皇は、明治34年4月29日にご誕生されました。第124代の天皇として即位されたのは、昭和元年(大正15年)12月25日ですが、大正10年、20才の時に病床にあった大正天皇の職務代理者として摂政に就任されました。当時の帝国憲法には「天皇主権」が明記されており、天皇陛下が国及び国民を統治すると定められていたことから、即位前からその任に就かれていた事になります。

この事は「昭和天皇の足跡」を編集する過程で初めて知った事で、自らの不勉強を痛感しました。

テレビ局は大騒動

1月7日早朝から報道特別番組がスタートした為、局内の各部署は、その対応に追われ

ました。

CMなしの生放送である為、番組出演者はスタジオに缶づめ状態で、VTRを流している間にトイレに行ったり、配られた弁当を食べたりしていました。

また番組編成の担当者、年末年始の特別編成から通常編成に変わるタイミングでの特別番組となった為、収録済みの番組がオンエアされずにお蔵入りになる等、様々な影響が出ました。

とりわけ4月の番組改編を控えて、3月で放送を完結しなければならぬドラマやシリーズ物などは、慌てて再編集して対応したという話も聞きました。

今年への対応は…?

今年4月30日の「天皇退位」と5月1日の皇太子殿下の「天皇即位」について、各テレビ局がどんな特別な番組を編成し、どのような対応で臨むのか、明らかになっています。

30年前のように喪に服する環境での「天皇即位」「改元」とはならない為、むしろ皇太子殿下の「天皇即位」をお祝いする祝賀ムードの中で対応となるのではないかと思えます。

いずれにしても「平成」の時代が終わり「新元号」の時代が5月に

スタートします。

地震や津波、ゲリラ豪雨など、自然災害の怖さを体感した30年でもありました。

各自自治体では「災害対策室」や「危機管理室」を設置し、「大難

を小難に、小難を無難に」の意識の下、「安心安全な街づくり」に取り組んでいます。新しい元号の時代が、平穏で平和な時代となる事を祈っています。

退位されても

『平成天皇』は厳禁!!

平成31年4月30日。天皇陛下が退位され「上皇(じょうこう)」とされます。

これらの申し合わせ事項に基づいて、記事や原稿を作成するということになります。

従って、現在の天皇皇后両陛下は、退位された後は「上皇さま」「上皇后さま」と呼ばれる事になり、ご夫妻としての呼び方は「上皇ご夫妻」となります。

ちなみに「平成」から「新元号」に変わっても「平成天皇」という表現は使用しない事も確認されたそうです。つまり、これまでは天皇陛下のご崩御(逝去)によつて元号が変わり、亡くなられた天皇には、在任中の元号が「諡号(しごう)おくり名」としてつけられる為「昭和天皇」のように呼ばれてきました。しかしながら、今回の場合は、天皇陛下が存命中に退位されて「上皇」という位につかれていますから、「平成天皇」という呼び方は存在しない訳で、極めて不適切な表現となるので注意が必要です。

また、5月1日に天皇に即位される皇太子殿下には、男のお子様がいらっしゃらない為、皇位継承順位1位は、実弟である秋篠宮さまとなります。秋篠宮さまは、「皇嗣(こうし)」となられる訳ですが、呼び方は、これまで通り「秋篠宮さま」とし、特に必要な場合は、「皇嗣である秋篠宮さま」とする事になっています。

これらの取り決めは、昨年末に開催された新聞用語懇談会の放送分科会で皇室典範などに照らして決定されたもので、各報道機関は、

※この情報は、毎日放送(MBS)アナウンサー室からご提供いただきました。

今年(亥年)は選挙の年!!



今年(亥年)は、12年に一度巡ってくる亥年は、統一地方選と参院選が執行される事から「選挙の年」といわれています。

とりわけ大阪では、大阪府知事と大阪市長の選挙も行われる為、まさに選挙・選挙の一年となります。そこで、今年予定されている各級選挙について、検証してみました。

大阪府議選

立候補予定者 (定数①)

田中 一範 41 (自民・現)
置田 浩之 41 (維新・前)

大阪市議選

立候補予定者 (定数③)

木下 吉信 57 (自民・現)
丹野 壮治 46 (維新・現)
梅園 周 40 (無所属・現)
石谷 尚子 58 (共産・新)
橋本 真菜 31 (立民・新)

自民現職の田中一範氏と維新前職の置田浩之氏以外に立候補の動きはなく、前回同様、一騎討ちの模様。前回3000票差で、議席を取り戻した自民が議席を守るか、維新がリベンジするのか、府議選注目の選挙区となっている。

特に18才選挙権導入後、初めての統一地方選となるだけに、府議選・市議選では、新しい有権者の投票が注目されている。

今回から定数が④から③に減り激戦が予想される。公明現職の島田まり氏が引退。公明が後継候補の擁立を見送った。

また、自民元職の大丸昭典氏も不出馬の為、混戦模様となっている。前回の島田票(約7200票)と大丸票(約6000票)の行方が当落を左右する。

参院選

立候補予定者 (定数④)

柳本あきら 44 (自民・新)
太田ふさえ 67 (自民・現)
東 とおる 52 (維新・現)
杉 武久 43 (公明・現)
ちみこ 42 (共産・現)
亀石 倫子 44 (立民・新)
にしやんた 49 (国民・新)
佐々木一郎 67 (諸派・新)

自民が前大阪市議の柳本あきら氏に加えて、比例区現職の太田ふさえ氏を選挙区で公認し、2人擁立。維新も3年前の参院選で

2議席獲得しているだけに、今回も東氏に加えて2人目の候補者擁立に向けて調整中との事。

公明・共産は、現有議席の確保に向けて統一地方選と連動して組織の引き締めを図る。

立憲民主と国民民主は、ともに知名度のある新人候補を擁立し、自民・維新の間隙をうかがう。

※通常国会の会期の関係で投票日については現在未定。7月28日が任期満了日となる為、7月下旬の投票日が可能性大。

衆・参W選?

マスコミ報道によれば、「10月の消費増税を円滑に実施する為、6月に会期末を迎える通常国会で軽減税率の導入や、キャッシュレス減税等の景気対策を争点に衆院を解散し、参院選とのW選挙に持ち込む可能性を否定できない」との見方が有力。

通常国会は1月28日に開会し、150日間の会期で、6月26日が会期末となる予定。

仮に、衆参W選とするには、終盤国会の6月中旬以降に衆院を解散すれば、7月21日・28日の衆参同日選が可能となる。

7月の14日・7日、6月30日の同日選も可能ではあるが、選挙中にG20サミット(6月28日~29日)が開催される為、警備上の都合等で現実的でないと言われている。

いずれにしても解散権は、安倍首相の専権事項だけに、4月の全国統一地方選の結果を見た上で判断するのではないかとみられる。



前回の府議選結果 (阿倍野区・定数①)

田中 一範 (自民・新)	24,071 票
置田 浩之 (維新・現)	21,021 票

前回の市議選結果 (阿倍野区・定数④)

丹野 壮治 (維新・現)	9,558 票
木下 吉信 (自民・現)	9,351 票
島田 まり (公明・現)	7,219 票
梅園 周 (維新・現)	6,885 票
大丸 昭典 (自民・前)	6,071 票
石谷 尚子 (共産・新)	5,377 票
田崎加奈子 (民主・新)	2,239 票

大阪府議選・大阪市議選は

3月29日(金)告示、4月7日(日)投票です。

大阪府知事選・ 大阪市長選

現在のところ、現職の松井知事と吉村市長以外の候補者については、名前は挙がっていない。自民党では、知事・市長ともに候補者擁立に向けて調整中との事。

通常通りの任期で選挙が行われれば、11月に知事・市長のW選挙が行われる予定。しかしながら、昨年暮れに松井知事と吉村市長が、任期満了を待たずに辞職して、統一地方選や参院選との同日選を示唆する発言をしており、投票日については流動的な状況となっている。

ただ、辞職した首長が出直し選で再選された場合は、公選法の規定により残り任期しか勤められない為、松井知事が市長選、吉村市長が知事選にといった「タスキ掛け出馬」も噂されているが、首長の私物化との批判もあり、動向が注目されている。



都構想の住民投票

現在、法定協議会で都構想の設計図となる「特別区設置協定書」が審議されているが、法定協議会で過半数の議決の後、府議会・市議会それぞれで過半数の議決がなければ、住民投票に駒を進める事ができない。

大都市法では、府市両議会での最終議決の日から60日以内に住民投票を実施する事が定められているが、否決された場合は、協定書案は廃案となる。

現在、府議会・市議会ともに維新単独では過半数の議席を有しない為、公明の協力が不可欠。(自民・共産・民主系は反対の為)

ただ、昨年暮れに維新と公明の密約文書が公表されるなど、お互いの信頼関係が損なわれる状況となっており、協議会の開催を含めて、見通しのたたない状態が続いている。

維新としては、4月の統一地方選で、府市ともに過半数の議席を獲得し、他党に關係なく単独採決を目指すとしており、場合によっては、知事選や市長選との同日選も視野に検討している。

阿倍野防災センター 「あべのタスカル」 4月27日(土)にオープン

体験型防災学習施設として、再開発地区内に開設された阿倍野防災センターが、今年4月に装いも新たにオープンする事になり愛称も市民による投票の結果「あべのタスカル」に決定しました。

大阪市では阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、市役所の本庁舎が被災し災害対策本部が設置できない場合などに、重要となる初期初動体制を確保するため、災害対策本部機能を代替・



余震体験 がれきの街

補完する「阿倍野防災拠点(阿倍野フォルサ)」を平成16年にオープンし、3階部分に体験型防災学習施設として「阿倍野防災センター」を併設しました。

地震の体験コーナーや火災時の消火体験など他都市からも注目される施設として運営されてきましたが、地震を中心とした展示内容の老朽化とともに東日本大震災の津波被害や各地で近年発生した災害の教訓を踏まえた内容へ更新する事になりました。

整備後の施設では、大阪市内で起こりうる災害別のシミュレーションを最新の映像システムで体験できる他、地域特性に応じた災害リスクとその対策についても学習する事ができるとの事です。

施設の愛称も、市民による投票の結果「あべのタスカル」に決まりました。これは、災害時に自分自身が「助かる」だけでなく、多くの人を「助ける」人になってほしいという意味が込められているとの事です。



タスカルシアター

市消防局では、様々な災害シミュレーションを体験する事でイザという時に、あわてずに適切な行動が取れるよう、年齢や性別に関係なく学習して欲しいとしています。

新たなオープンは、ゴールデンウィークに合わせて4月27日(土)午前10時です。入場は、これまで通り無料となっていますが、団体での見学については、事前にお問い合わせを頂きたいとの事です。

【お問い合わせ(来館予約)】

体験型防災学習施設

大阪市立阿倍野防災センター

〒545・0052

大阪市阿倍野区阿倍野筋

3丁目13番23号

☎06・6643・1031

http://www.abeno-bosai.cc

ity.osaka.jp

平成31年・第45回 「木下会・新春のつどい」のご案内

【日 時】

2月10日(日)午前11時～	高松	王子	丸山	
2月10日(日)午後3時～	常盤	文の里	阪南	
2月11日(月・祝)午前11時～	金塚	長池	阿倍野	清明丘

【場 所】 **ホテル・アウイーナ大阪**
 大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12(4階 金剛)
 ☎06-6772-1445

【参加費】 お一人様 ￥5,000
 ※参加ご希望の方は、木下会 事務局まで
☎06-6621-2651

【主 催】 **木下会** (大阪市議員 木下吉信 後援会)

第82回 木下塾

- 日 時 平成31年3月2日(土) 午後7時～
- 場 所 阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)
- 定 員 100名 入場無料
- テーマ 「統一地方選の争点」～何を基準に議員を選ぶのか?～

※木下議員自らが講師をつとめ、時節に合った関心の高いテーマを取り上げ、わかりやすく解説します。
 ※豊富な資料と軽妙な語り口が好評です。ぜひ一度ご参加下さい。
 ※お問い合わせ・ご意見は、木下事務所まで☎06-6621-2651

【参考】過去3回のテーマ

- 第81回(H30年12月15日)
「2025年 大阪万博・開催決定!」～都構想・カジノはどうなるの?～
- 第80回(H30年9月15日)
「安倍VS石破 どうなる総裁選」～戦後最長、安倍三選なるか～
- 第79回(H30年6月9日)
「日大・悪質タックルの真相と政界よもやま話」

木下吉信議員の プロフィール



昭和36年 木下家の長男として阿倍野区に生まれる。
 父 木下伸生 第78代 大阪市会・議長
 祖父 木下常吉 第55代 大阪市会・議長
 第50代 大阪市会・副議長

昭和49年 大阪教育大学付属天王寺小学校卒業
 昭和52年 同志社香里中学校卒業
 昭和55年 同志社香里高校卒業
 昭和59年 同志社大学文学部社会学科卒業
 ●中学から大学までの10年間は、ラグビー部で選手として活躍。
 ●同志社大学時代は、4年間で3度の大学日本一に輝く。
 昭和59年 大学卒業後、毎日放送に入社。
 報道局で5年間、スポーツ局で3年間、取材記者として活躍。
 ●報道局在勤中は、グリコ・森永事件や山口組VS一和会の抗争事件など重要事件の取材を担当したほか、昭和天皇ご崩御の際はJNN特別取材班の一員として宮内庁記者クラブで昭和最後の日を迎える。
 ●また、国政選挙、統一地方選挙などの報道取材を通じ、国政市政の抱える問題点をさまざまな角度から勉強する。
 ●スポーツ局では、プロ野球をはじめ、ゴルフ、ラグビー、駅伝などのチーフディレクターをつとめる。

平成4年 3月 ・父の遺志を継いで大阪市議員補欠選挙に初当選。
 平成7年 4月 ・大阪市議に再選。
 平成7年 5月 市会運営理事(第90代徳田議長付)
 平成9年 6月 文教経済委員長
 平成11年 4月 ・大阪市議に三選。
 平成11年10月 自民党大阪府連青年局長
 平成12年 6月 市会運営理事(第95代天野議長付)
 平成12年10月 市会運営理事(第96代玉木議長付)
 平成15年 4月 ・大阪市議に四選。
 平成16年11月 一般会計・決算特別委員長
 平成17年 6月 交通水道委員長
 平成19年 4月 ・大阪市議に五選。
 平成22年 6月 大阪市・監査委員
 平成23年 4月 ・大阪市議に六選。
 平成25年12月 第110代・大阪市会 議長
 平成26年 5月 関西広域連合・議会議員
 平成27年 4月 ・大阪市議に七選。
 平成27年 5月 第115代・大阪市会 副議長
 平成27年11月 自民党・政令指定都市議連・政調会長
 平成29年11月 自民党・政令指定都市議連・幹事長

【現 在】 ●大阪市会・財政総務委員会・委員
 ●自民党・政令指定都市議連・幹事長
 ●自民党・阿倍野支部・幹事長
 ●自民党・大阪市議団・商業振興議連・会長

市内で1300戸 市営住宅募集 阿倍野区は7戸 ～平成31年2月分～

市営住宅の2月分の募集要項が発表されました。今回募集対象となるのは、市内全域で約1300戸。その内、阿倍野区では、再開発地区の「ステラ」や「松崎第二」等で、7戸程度が募集される見込みです。
 申し込みの募集要項は、2月4日(月)～18日(月)に区役所等で配布され、締め切りは2月18日(月)の消印有効となっています。
 また、家族構成に応じて「一般」「単身者」「子育て」「新婚・婚約」等に分類され、それぞれの世帯人数に応じた収入基準や条件等が記載されています。
 くわしい事については、木下事務所までお気軽にお問い合わせ下さい。
 木下事務所 ☎06(6621)2651

編集後記

いよいよ、平成最後の発行となりました。次号(7月発行予定)からは新しい元号での発行となります。
 平成8年1月に第1号を創刊してから早いもので23年。数えて47号となりました。これからも、阿倍野区民の皆様の市民生活の向上につながる情報提供に努めて参りますので、引き続きのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

既報の通り、今年は選挙の年です。4月の統一地方選で府会と市会。7月の参院選。11月には任期満了で大府知事と大阪市長。これでもし、衆院の解散総選挙が執行されれば、今年一年ですべての階級の議員と知事・市長が改選となります。

まさに、新しい元号の時代を担う政治家を有権者が選ぶ一年となる訳です。18才以上の皆さん、よく考えてくれぐれも棄権しないよう一票を投じて下さい。

